

津市都市デザイン委員会 協議内容の要旨

- 1 開催日時 平成24年3月27日(火) 午前9時～午前11時45分
- 2 開催場所 津市本庁舎3階 第31会議室
- 3 内 容 「津市屋内総合スポーツ施設」について
「(仮称)津市景観計画素案」について
- 4 出席者 委員側：錦委員長、今井委員、坂井田委員、大野委員、浅野委員
附議者：川北スポーツ振興課長、川合体育指導担当主幹、
谷口主査、藤川主事
曾根営繕課長、田中建築営繕担当主幹、永田技師
株式会社日建設計 小谷設計部長、鳥海氏
事務局：伊藤都市計画課長、落合景観・緑化推進担当主幹、
紀平主事、本多主事

5 要 旨

「津市屋内総合スポーツ施設」について

●施設デザインについて

- ・既存のメッセウイング・みえとの調和が最も重要であるので、十分に配慮されたい。
- ・施設全体がよく見える、国道23号中勢バイパスや主要地方道県道津芸濃大山田線からの施設の外観をもっと意識してほしい。
- ・アスリートモールが前面道路から見えるぐらいの印象を持ちながら一体感を作れるよう、施設の顔となるようなデザインにならないか。
- ・敷地外周のランニングロードと敷地角のポケットパークについて、細部の設計の際には、施設利用者だけでなく地域住民にも使いやすいデザインとなるよう配慮されたい。

●敷地内の配置について

- ・駐車場と施設が馴染んでいない印象があり、駐車場からメインの入り口へのアクセスをもっと明確にしたほうがいいのか。また、施設の前面道路から駐車場へ入る車と施設に向かう人がクロスし、前面道路からの右折車がスムーズに流れないため、渋滞が発生する。車の駐車場へのアクセスをよりスムーズな流れとなるよう検討されたい。

●施設の利用方法、動線について

- ・競技者と観客が同一である大会などの場合、観客席とアリーナを行き来する際の上下足の履き替えやルートが、よりスムーズとなるよう動線を検討されたい。
- ・大きな大会などの際の休憩場所、食事場所の確保は問題となる。当該施設の立地を考慮すると、施設内で対応できるよう検討されたい。

●その他

- ・事業予定地周辺が殺風景な印象があるので、今回の整備に伴って、緑化や植栽の工夫などで潤いの感じられる空間となるような演出されたい。
- ・施設が市街地から少し離れた立地となるので、将来に備え、利用者の利便を図るため公共交通のアクセス整備を検討してほしい。
- ・津市体育館をはじめ、現在の他のスポーツ施設の予約方法は不便（必ず利用日までに施設窓口で手続きをしなければならない等）なので、より使いやすい方法となるようシステムを改善されたい。
- ・ソーラーパネルの設置などにより、太陽光発電を災害時や施設の空調などに活用されたい。

「(仮称) 津市景観計画素案」について

●景観形成地区について

- ・榊原温泉地区の方針と基準にギャップを感じる。田園景観の中で人が集まる癒しの場所として評価され景観形成地区の候補になっていると考えているが、方針では開発に関する記述はあるが基準ではないなど、田園のよさを保全する施策につながっていないのではないかと。形態規制だけでは農地の景観は守れないということを榊原温泉地区で示してほしい。

●その他

- ・市内の公園は、場所によっては、管理されず荒れて見えることもあるので、再整備や別用途への転換などによって景観施策に有効活用できないか。
- ・河川については、雑草で荒れて見える。水辺の景観は重要なので、市民が親しめるように、方針だけではなく具体的な施策に繋げていけるよう努められたい。
- ・関連制度の活用の項目において、農地転用に関する記述など農地を対象とした景観施策が展開できるような記述が必要ではないか。
- ・全体的に整理され、景観計画として良いものになったと思うので、ここまで作り上げた素案の成案化を目指し、また、景観条例の制定などの諸手続きを進め景観計画の早期運用が図られるよう努められたい。